

# オンラインコミュニティ「フェムトーク」の 運営およびメディアでの情報発信





# 事業計画

実施事項		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オンラインコミュニティ「フェムトーク」の構築と運用	企画プランニング	*	*								
	サイトオープン			8/4							
	トークテーマ運用			8/4	9/22「生理」	10/11「更年期」	11/14「妊活」				
	態度変容調査（アンケート）				*			*			
	定期レポート					*			*		
	データマイニング								*	*	
メトロポリターナでの情報発信	ユーザー獲得施策			8/10 1P	9/10 1P	メルマガ 10/10					
	情報発信			8/10 1P		巻頭特集内	11/10 1P		1P	1P	
	成果測定									*	
産経新聞での情報発信	ユーザー獲得施策			8/5							
	情報発信（知っ得ニュース）							12/16（金）	1/20（金）		
	情報発信（記事広告）										3/8予定
セミナーの実施	セミナー実施				事前MTG			募集告知	*		
	成果測定								アンケート	*	



# 2022.8.4 コミュニティオープン



サークルメンバー  
4,275人

45トピック  
3,122コメント

2022.11.15現在



2022.8.5 産経新聞 1面社告

**女性特有の問題話し合おう**  
「きっかけ」に新コミュニティ開設

産経新聞社は、インターネット上で会員同士が対話を築きむオンラインコミュニティ「きっかけ」内に、「フェムトークコミュニティ」を開発しました。コミュニティ構築・運営大手のクオンと共同で運営。会員募集しています。

「フェムトークコミュニティ」は、月経・妊娠・出産・更年期など女性が心と体の悩みについて自由に話し合える場をつくり、働く女性の望まない離職を防ぐことを目指します。女性特有の健康課題は、女性の離職の要因の一つになっているにもかかわらず、個人の問題と捉えられがちです。本コミュニティの運営は経済産業省の令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」の採択事業の一つに選ばれています。

オープンを記念し、会員登録の上、コミュニティ内でコメントを投稿した人を対象に、抽選で「Amazonギフト券500円分」が100人に当たるキャンペーンを実施します。締め切りは10月14日午後1時。登録・応募はQRコードから。（11面に関連記事）

11面「知っ得News」

**働く女性の悩みを気軽に**

働く女性がオンライン上で心や体の悩みを語り合える「フェムトークコミュニティ」が、産経新聞社がクオンと共同で運営するオンラインコミュニティ「きっかけ」内にオープンしました。働く女性が過去最多となる中、女性特有の健康問題が理由で仕事や昇進を諦める女性も増えている。コミュニティは、働く女性が健康で長く働き続けられる環境づくりの一助となることを目指す。

厚生労働省（令和2年版）によっても、元年の女性就業率は前年比44万人増で過去最高となり、全労働者の44.4%を占めました。ただ、年齢階級の労働力率では、15～29歳（85.1%）と「45～49歳」（81.4%）を左右のピークとして、「35～39歳」（76.7%）を底とするM字型カーブは解消されつつあるが依然残っている。妊娠や出産が離職原因となっていることがわかった。また、

「フェムトークコミュニティ」のトップ画面

労働政策研究・研修機構の調査。飛客員研究員がNHKなどと同で行った「更年期と仕事に関する調査2021」によると、更年期症状が原因で離職した40～50代の女性は、約46万人と推計された。

ただ、月経や更年期などの症状は個人差が大きい。順天堂大学や西岡実子教授（母性看護学）は、「症状が重い」と仕事の理解している男性管理職は少なく、同じ女性であったとしても「甘い」と非難してしまうことがあると話す。

学校教育で月経や更年期などについて学ぶ機会が少ないことや、症状の出入り個人差があることから、周囲への相談をためらう女性は少なくない。西岡教授は「婦人科の受診が必要と気づかない人も多い。情報はあふれかえっているが、正しい情報のアクセスは難しい。社会全体のヘルスリテラシーの底上げが大切だ」と指摘する。

「フェムトークコミュニティ」では、働く女性の健康課題をテーマに男女を問わず気軽に語り合える場を創出する。また、企業向けに産業界の派遣や労働アドバイザーを「さんぎょうい」（東京都新宿区）や西岡教授らの協力を得ながら役立つ情報を発信。ユーザーの投稿を分析し、女性の望まない離職や働きづらさにつながるものがあるかを浮き彫りにして、解決の糸口を探る。

「フェムトークコミュニティ」は、産経新聞社が昨年10月から「女性のココロとカラダのケアを考えよう」という未来につながる「テーマ」に取り組むフェムケアプロジェクトの一環で、登録、参加は無料。詳細はQRコードから。



2022.8月号 P3 メトロP 1/2枠

03 | metropolitana. vol.234 Aug. 2022

みんなで話そう、女性のココロとカラダ  
「フェムトークコミュニティ」参加者募集!

みんなで話そう、女性のココロとカラダ  
「フェムトークコミュニティ」参加者募集!

働く女性のおさまざまなココロとカラダの悩みについて、みんなで考えていくコミュニティ。あなたの悩みや経験が誰かの助けになるかもしれない。まずは気軽にご参加を!

コミュニティオープン記念キャンペーン  
期間中、コミュニティ内で指定のココロとカラダに関する記事を読み取ると、読者100名様にAmazonギフト券(500円分)をプレゼント!

申し込みはこちら  
詳細はこちら

### 働く女性を応援するコミュニティ始動!

働く女性のライフイベントに起因する望まない離職等を防ぐとともに、企業の人材多様性を高め、企業の価値創造につなげることを目指して設立す、経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」。産経新聞社は、令和4年度の同事業において採択を受け、誰もが匿名で語り合えるオンラインコミュニティ「フェムトークコミュニティ」を開設した。女性の抱える健康課題には、もちろん個人差がある。たとえば仕事や生活に影響が及んでも、パーソナルな悩みほど、誰にも話しづらく、ひとりで悩みを抱

えている人も少なくない。本コミュニティでは、女性のココロとカラダに関する悩みについて、「みんな」で話し合うとともに、専門家のアドバイスも参考にして、仕事と生活を両立できる社会の実現を考えていく。このコミュニティに寄せられた女性の悩みや経験を共有しながら、産経新聞およびメトロポリターナは、多くの人が、よりよく働くためのヒントとして、専門家の意見とともに発信していく予定だ。健康課題を感じている人も、働く女性を応援したい人も、ぜひ参加してみよう。

### 助産師Vチューバーによる女性の健康セミナー

ジョセケン  
BRING  
助産師Vtuber  
「産ませよう!」

産分析アバター相談システムを展開する「BRING」と、助産師活動ネットワーク「一般社団法人 女性の健康推進協会」(主催・ジョセケン)が、来る9月25日(金)、女性の健康課題にまつわる無料オンラインセミナーを開催。現在、参加者を募集している。

ネットによって、さまざまな変化がある女性の体。妊娠、出産、更年期といったライフステージによっても、仕事や生活に大きな変化が生じやすい。本セミナーは、ジョセケン代表理事の渡辺文子さんが、助産師Vチューバーとして、働く女性の

ライフステージごとの健康課題と対処について教えてくれる。すでに悩みを抱えている人にも、今後のために学んでおきたい人にも役立つ情報が盛りだくさんで、ヘルスリテラシーを高めることができそう。

セミナー内では、毎日実施する「アバターを活用した助産師への相談システム」の実証実験に向けて、その参加者も募集予定。匿名で助産師に相談できる機会なので、悩みがある人はぜひチェックしてほしい。

事前申し込みをすれば、誰でも無料で参加できるのセミナーなので、気軽に参加してみよう。

メトロポリターナ見、今月のピックアップ

みんなで話そう、女性のココロとカラダ  
「フェムトークコミュニティ」参加者募集!

月経 閉経 出産 更年期  
働く女性の様々なココロとカラダの悩み。

みんな話して、みんな考えよう。

### 働く女性を応援するコミュニティ始動!

働く女性のライフイベントに起因する望まない離職等を防ぐとともに、企業の人材多様性を高め、企業の価値創造につなげることを目指して設立す、経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」。産経新聞社は、令和4年度の同事業において採択を受け、誰もが匿名で語り合えるオンラインコミュニティ「フェムトークコミュニティ」を開設した。女性の抱える健康課題には、もちろん個人差がある。たとえば仕事や生活に影響が及んでも、パーソナルな悩みほど、誰にも話しづらく、ひとりで悩みを抱

えている人も少なくない。本コミュニティでは、女性のココロやカラダに関わる悩みについて、「みんな」で話し合うとともに、専門家のアドバイスも参考にして、仕事と生活を両立できる社会の実現を考えていく。このコミュニティに寄せられた女性の悩みや経験を共有しながら、産経新聞およびメトロポリターナは、多くの人が、よりよく働くためのヒントとして、専門家の意見とともに発信していく予定だ。健康課題を感じている人も、働く女性を応援したい人も、ぜひ参加してみよう。

### みんなで話そう、女性のココロとカラダ「フェムトーク コミュニティ」参加者募集!

働く女性のおさまざまなココロとカラダの悩みについて、みんなで考えていくコミュニティ。あなたの悩みや経験が誰かの助けになるかもしれない。まずは気軽にご参加を!

### コミュニティオープン記念キャンペーン

期間中、コミュニティ内で1回以上コメントを投稿していただいた方の中から、抽選で100名様にAmazonギフト券(500円分)をプレゼント!

### キャンペーン期間

10月14日(金) 13:00まで

詳細はこちら





## 2022.8.4 トークテーマ①「月経」

### 月経のお悩みやトラブル、我慢している？対処している？

#### 集計期間

2022/9/22～2022/10/6

#### 本企画の狙い

■月経症状や対処の実態を話していただき、他の人の悩みから共感や情報交換を促す。我慢しなくてよいこと、月経トラブルへの適切な対処を知るきっかけを作る。

#### トピック内での質問

■我慢している人は我慢している理由、対処している人は対処法（婦人科への相談・セルフケアなど）を教えてね。

■お仕事に影響が出ている方は、会社・家族などまわりに相談している？どのように対応している？

■月経トラブルのために離職を考えたことは？または、離職・転職経験はある？

#### 施策反応状況

	投稿数 85件		投稿人数 77名		投票人数 104名
---	------------	---	-------------	---	--------------

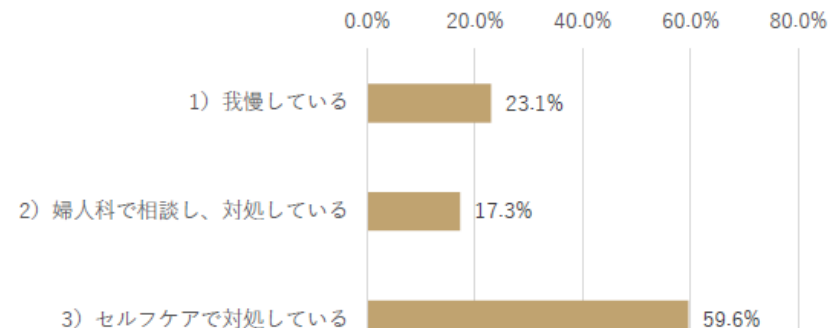
投稿数：本企画実施期間中の発言数

投稿人数：本企画実施期間中の発言人数（UU）

投票人数：本企画実施期間中の投票人数（UU）

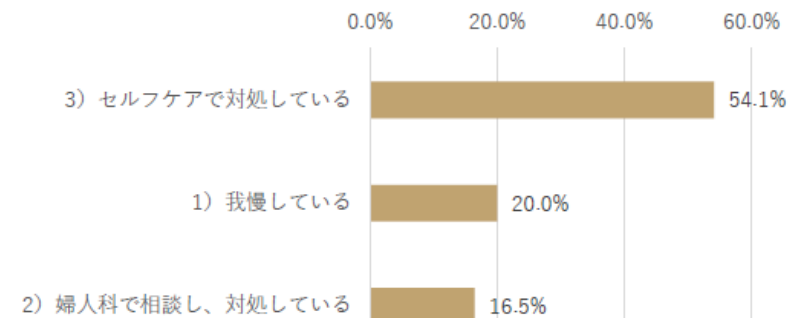
#### ワンクリックアンケート集計

##### 対処法（n=104）



##### タグ分類による発言傾向

##### 対処法（n=85）





# 事業を実施して分かってきたこと：トークテーマの分析

## 月経のお悩みやトラブル、我慢している？対処している？

セルフケアで対処している

54.1%

市販の**痛み止め**を服用しています。なかなか大きなトラブルがないと、**生理痛だけでは婦人科へ行かない**です。

アイス太郎さん（40代女性）

市販の**鎮痛剤**を飲んで我慢しています。**婦人科へは行きづらい**為

akiakiakimiさん（40代女性）

年々辛くなっている**月経痛**…今のところはセルフケアしています^^温めると楽になるので、**寒い季節はホッカイロが大活躍**☆

みかさん（30代女性）

ほとんど**我慢してしまいがち**ですが、どうしても痛いときや生理がひどいとあらかじめ分かっている日は**市販薬に頼っています**。

えりさん（30代女性）

我慢している

20.0%

**薬を飲んで我慢**する。行きつけの婦人科がないし、地元の婦人科はいつも妊婦や不妊治療の人で満員、**病気の確信がないので行きにくい**。

しずくさん（40代女性）

気分の落ち込みやイライラであらかじめ生理中は**そういうものだなあ**とあきらめて仕方ないとしています。**ばななさん（40代女性）**

初日と2日目が痛いのが分かってるので**温めたりしてなるべく我慢**して、痛い波が去るのを待つ。**薬が効かなくなるのでは？**といまだに思っていて、**我慢できないくらい酷いときだけ薬を飲んで**います。**はるりさん（30代女性）**

**出産して生理が重くなった**・・・前までそんなにしんどくなかったから、まだこのしんどさの**対処方法は手探り中**

mamiviolaさん（20代女性）

婦人科で相談し、対処している

16.5%

婦人科で受診しています。**ピルでずいぶん楽**になりました。

みっちゃんさん（40代女性）

婦人科で受診し、**ホルモン補充療法でかなり楽になりました**。併せて身体を冷やさないように心がけているのも良いのかもしれませんが。

みっちゃんさん（40代女性）

ちょっとおかしいと思うと**暫く様子を見て婦人科受診する**ようにしています。大体なんともないですが**年齢を重ねてきて不安も多いですから自分の身体を大切にしたい**と思います★

おゆきさん（40代女性）

10代の時はなかなか勇気が出なくて病院に行くのを躊躇っていましたが、**20代になってから婦人科を受診する**ようになりました。薬を出してもらえたりして**安心できる**ようになりました。

なっちゃんさん（30代女性）





# 事業を実施して分かってきたこと：トークテーマの分析

発言ピックアップ：相談してる？

## 月経のお悩みやトラブル、我慢している？対処している？

している/したことがある  
(同僚、家族)

27.1%

仲のいい同僚にしんどい時は相談しています  
けいこまりさん (40代女性)

長い友人には理解してもらっている  
たみ♪さん (40代女性)

職場には言ったことないです  
家族には生理中はイライラしてしまうから、ごめんって言っています  
はちゃんさん (30代女性)

家族には相談して家事を手伝ってもらっています。  
野菜生活さん (30代女性)

夫には相談し、家事を助けてもらっています。  
ナッチさん (50代女性)

していない/したことがない

17.6%

そこまで出てないので話してないです。  
人によって重さや感じ方が違うし、男性には理解も  
得られにくく難しいですね。  
RYOSHIさん (30代女性)

根性で頑張ってる  
はいからんさん (50代女性)

恥ずかしいので我慢しています。動きがとろくなりま  
す  
えりたんさん (20代女性)

薬を飲むタイミングを見誤らなければ影響はほぼな  
いです。男性が多い職場なので相談していません。  
家族には「しんどいので横になる」ということはあ  
ります。  
ナヘコさん (40代女性)

している/したことがある  
(上司)

10.6%

上司が女性なので話してます。その日は在宅希望だ  
してます。  
gumgumさん (40代女性)

体調不良まで来ていたら理由を話してます。できな  
いことがあります。そうな時は早めに理由とともに説明し  
ています。  
RYOSHIさん (30代女性)

どうにもならない場合は会社の同僚や上司、家族に  
相談している  
ゆきしろさん (50代女性)

辛いときは相談して休みます  
ことさん (30代女性)



## 今後実施すること

### \* 産経新聞での情報発信

トークテーマ②更年期、トークテーマ③妊活のコメントを集計・分析し、順天堂大学の西岡笑子先生に監修いただいた記事を発信する。  
産経新聞朝刊12月16日（金）、1月20日（金）予定

### \* セミナーの実施

さんぎょうい様と協業し、セミナーを実施。  
コミュニティの内容を分析し、テーマ・講師を選定。  
1月での実施予定。

### \* 国際女性デーにあわせて 新聞およびメトロポリターナ での紙面特集

3月の国際女性デーにあわせて、実証事業の集大成として  
誌面企画を実施する。



2022.8月号 P3 メトロP ½枠